

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふりがな 氏名	おかだ まさき 岡田 正樹
(研究テーマ名) インターネットにおける芸術・文化と賑わいの研究	
(研究活動実績) <p>本研究はインターネット（主にウェブ）における、文化実践が為される賑わいの場の形成メカニズムを明らかにすることを目的とする。2013 年度は、主に 2001 年のインターネット博覧会の音楽実践を事例とし、賑わいの場の形成あるいは形成失敗のメカニズムを考察した。その内容の一部は論文および学会での口頭発表の形でアウトプットした。また、近年のウェブでの賑わいの場において生み出される文化の実相を把握、考察するため、主に動画サービスを中心として制作・消費が行なわれる VOCALOID 音楽を対象とした共同研究会に参加し、定例研究会および外部からのゲストを招いた公開研究会を開催すると共に、共著研究ノートを執筆した（詳細は UCRC プロジェクトの成果報告を参照）。今後は賑わいの「場」の形成とそこで為される文化実践の特質との関係を明確にするると共に、「場」と文化実践をとりまく情報環境・社会環境をより詳しく調査する。</p> <p>【論文】 岡田正樹 2014 「インパクトなきインパクの音楽実践から考える—インターネットの音楽と賑わい」『ポピュラー音楽研究』17:3-16. (査読あり)</p> <p>【研究ノート】 柴台弘毅、岡田正樹、鍾允順 2014 「研究ノート：VOCALOID/VocaListener における〈声〉と〈身体〉—関連研究の動向と今後の視座—」『関西大学大学院 人間科学：社会学・心理学研究』80 号【印刷中、2014 年 3 月中旬刊行予定】</p> <p>【口頭発表】 岡田正樹 2013 「インターネット博覧会「インパク」の音楽実践：ネットにおける音楽と賑わいに関する考察」. 第 25 回日本ポピュラー音楽学会年次大会・個人研究発表、於：関西学院大学.</p>	